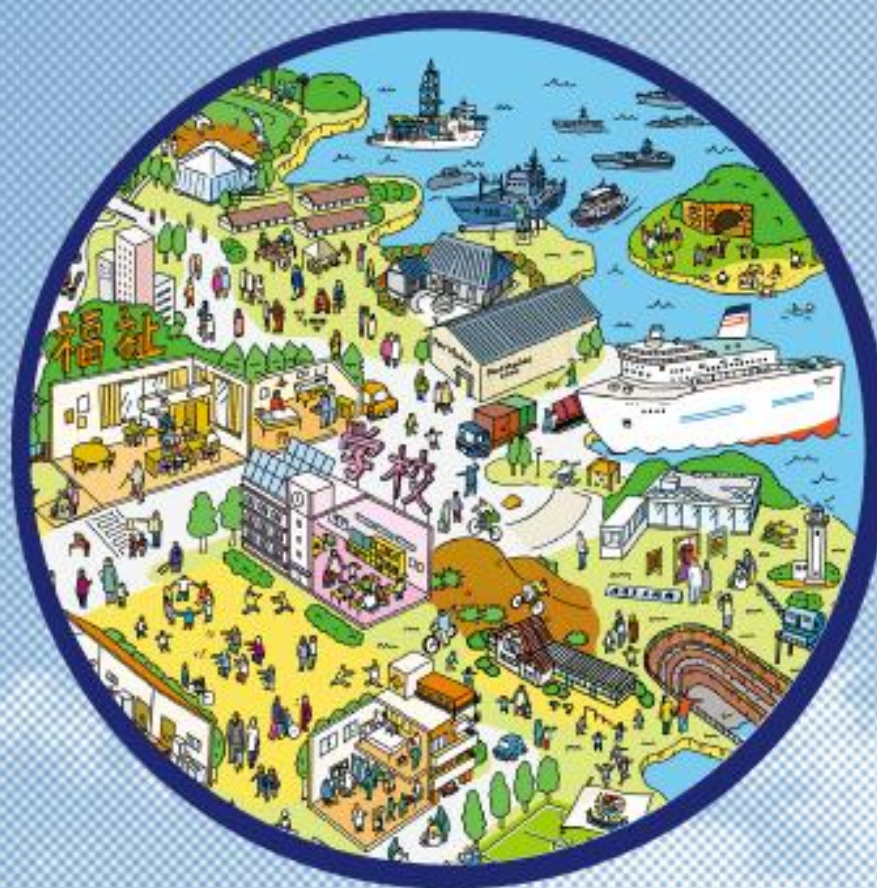




予算の概要

令和7年度(2025年度)

変化を力に進むまち。

CONTENTS

I	予算編成の基本的な考え方	1
II	当初予算の状況	2
III	令和7年度予算の重点投資（主な重点施策）	8
1	地域で支え合う福祉のまちの再興	10
2	子育て・教育環境の再興	50
3	経済・産業の再興	75
4	歴史や文化、スポーツを生かしたにぎわいの再興	92
5	未来につなぐ環境の保全・創出	108
6	その他の重点施策	115
APPENDIX（付属資料）		131
掲載事業一覧		143

I 予算編成の基本的な考え方

横須賀市はこれまで、「誰も一人にさせないまち」を目指し、「海洋都市」「音楽・スポーツ・エンターテインメント都市」「個性ある地域コミュニティのある都市」の3つのグランドデザインを掲げ、市政を進めてきました。

その間、コロナ禍をはじめさまざまな事がありましたが、その時その時、最善と思われる策を可能な限り迅速に実施してきたつもりです。多様に社会が変化する中、横須賀市はむしろその変化を力に、絶えず前進しています。

行政の最大の役割は、市民生活を守ることと、福祉の充実です。市民お一人お一人が、自身の幸福を追求できる環境を整えることです。この目的のためにこれまで多くの施策の種を撒き続けてきました。そして、その種は果実となり、またそれが新たな種を生産するという、投資の好循環が出来上がりつつあります。

この流れを絶やすことなく、更なる発展を遂げるため、令和7年度予算は防災対策の拡充をはじめ、福祉や健康、地域コミュニティに関する新たな施策、そして、教育・保育の充実や経済的負担の軽減など、横須賀独自の取り組み、横須賀ならではの取り組みを多数盛り込んでいます。

横須賀再興プラン8年間の総括、総仕上げとするべく、この予算を編成しました。

II 当初予算の状況

1 各会計の予算額および伸び率

(単位：千円)

会 計 名	令和 6 年度	令和 7 年度	増 (△) 減	伸率 (%)
一 般 会 計	168,920,000	179,590,000	10,670,000	6.3
特 別 会 計	111,241,000	111,061,000	△180,000	△0.2
国民健康保険費	41,754,000	40,160,000	△1,594,000	△3.8
公園墓地事業費	352,000	371,000	19,000	5.4
介護保険費	41,995,000	43,654,000	1,659,000	4.0
母子父子寡婦福祉 資金貸付事業費	229,000	69,000	△160,000	△69.9
公債管理費	18,691,000	18,281,000	△410,000	△2.2
後期高齢者医療費	8,220,000	8,526,000	306,000	3.7
企 業 会 計	68,604,000	50,427,000	△ 18,177,000	△ 26.5
水道事業会計	17,104,000	17,529,000	425,000	2.5
下水道事業会計	29,001,000	28,471,000	△ 530,000	△1.8
病院事業会計	22,499,000	4,427,000	△ 18,072,000	△ 80.3
合 計	348,765,000	341,078,000	△ 7,687,000	△ 2.2

2 令和7年度一般会計当初予算の状況

	令和6年度	令和7年度	増減額	伸率
予算規模	1,689億2,000万円	1,795億9,000万円	+107億円	6.3%

(1) 歳出

◆ 主な増加要因

- ・防災備蓄基地や物資配送拠点の整備、三浦半島4市1町による広域防災の調査検討など、防災対策の強化（約41億円）
- ・子育て支援のための児童手当の拡充や保育士等の処遇改善、障害者の支援などの扶助費（約34億円）
- ・人事院勧告に基づく給与改定などの人件費（約17億円）
- ・芸術劇場の改修（約11億円）、（仮称）南こども園の整備（約7億円）、三笠公園リニューアル（約3億円）
- ・学校給食や保育園等の給食費引き上げに対する保護者負担の軽減（約4億円）

◆ 主な減少要因

- ・定年延長に伴う退職手当の減（約16億円）

(2) 歳入

◆ 主な増加要因

- ・市税収入の増（約26億円）※市税収入623億円は過去10年で最大
 - 個人市民税：定額減税の影響が減ることによる増加（約15億円）
 - 賃上げによる所得環境の改善（約7億円）
 - 固定資産税：建替えや設備投資による増加（約6億円）
- ・ふるさと納税の寄附金見込みの増（約4億円）
- ・児童手当制度の拡充などによる国県支出金の増（約51億円）

◆ 主な減少要因

- ・定額減税の影響が減ることに伴う減収補填特例交付金の減（約17億円）
- ・市立総合医療センター建設用地の病院事業会計への売払い収入の減（約20億円）
- ・臨時財政対策債※の皆減（約10億円）
（実質的な交付税は、普通交付税との合計で、約2億円の減）

※地方財政全体の財源不足を補填するために発行される特例地方債（普通交付税の振替）

(3) 財源不足額（基金取崩し額）

一般会計の財源不足を補填する財政調整基金からの取崩し額は、57億円となりました。
主に、人件費の増加などにより、令和6年度と比較して2億円取崩し額が増加しています。

	R6年度	R7年度	増減額
基金取崩し額	55.0億円	57.0億円	2.0億円

参考：R7年度末の残高見込み 89.8億円

基金取崩し額（当初予算）の推移

（単位：億円）

H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
71.4	75.4	58.4	99.4	73.8	71.0	59.7	49.4	48.0	45.4	46.7	49.6
H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
54.5	60.0	59.5	61.7	41.9	56.3	52.2	38.5	38.5	46.9	55.0	57.0

3 積極投資のための財源確保

◆ R7 予算で新たに財源を活用した主な事業

①国・県補助金等

新しい地方経済・生活環境創生交付金の活用	56,892千円
・避難所の生活環境改善のための備品整備	50,000千円
・キャリアアップ支援の推進	4,500千円
・Web広報の導入	2,392千円
小学校の相談支援体制の充実	37,958千円
教職員の働き方改革	33,345千円
こども誰でも通園制度の開始	31,274千円
一時預かりの利用者負担軽減	2,038千円
横須賀総合高校のネットワーク回線増強	800千円

②企業版ふるさと納税

プロスポーツチームとの連携や e スポーツなど	90,807千円
ウインドサーフィンW杯	28,000千円
交通安全教室	1,030千円
街なかミュージック	500千円

Ⅲ 令和7年度予算の重点投資 (主な重点施策)

大柱	中柱
1 地域で支え合う福祉のまちの再興	(1) 安全・安心のまちづくり
	(2) 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり
	(3) 人生100年時代に向けた健康づくり
	(4) 新しいつながりによるコミュニティの活性化
	(5) 地域の支え合いに対する支援
2 子育て・教育環境の再興	(1) 子育て世帯の経済的な負担の軽減
	(2) 子育て世帯が働きやすい環境づくり
	(3) 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援・社会的養育支援
	(4) 学力向上・学習環境の充実
3 経済・産業の再興	(1) 都市基盤の整備
	(2) 物流拠点としての地位向上
	(3) 企業の新たな立地・持続的発展への支援
	(4) 魅力あふれる農水産業の振興
4 歴史や文化、スポーツを生かしたにぎわいの再興	(1) 音楽やダンス、エンターテインメントによるにぎわいの創出
	(2) 周遊と消費の促進
	(3) スポーツによるにぎわいの創出
	(4) ルートミュージアムのさらなる強化
5 未来につなぐ環境の保全・創出	(1) 地球温暖化対策の推進
	(2) 自然環境の保全・活用と循環型社会の推進
	(3) 公園の整備・活用
6 その他の重点施策	